



# 句集 隣の駅が見える駅

塩見恵介 著

新聞連載で人気の著者が  
平成を駆け抜けた「船団」時代を総決算。  
「これからの俳句」を考える一冊！



定価 1980円 (本体 1800円 + 税 10%)  
四六判 並製 156頁

角川「俳句」5月号(4/24売)に広告掲載

表現との格闘に満ちた第三句集！

〈作品抄〉  
チューリップ兄より優し兄の友  
菜の花の揺れたるような昼休み  
飛魚を鎖骨に飼っている女  
ポケットにいつの胃薬夏の月  
大の字になって素足に風を聴く  
爽やかや象にまたがる股関節  
秋空のラの音高きさようなら  
ノーサイドきみは凧だったのか  
蒲公英を咲かせて天と地の和解  
燕来る隣の駅が見える駅

塩見恵介 (しおみ けいすけ)

1971年、大阪府生まれ。1991年、「船団の会」(代表・坪内稔典)入会。

2004年、甲南高校文芸部を率いて俳句甲子園優勝。

2020年、「船団」散在後、俳句グループ「まるたけ」を発足。

句集に『虹の種』『泉こぼ』、著書に『お手本は奥の細道 はじめて作る俳句教室』、『小学生のための俳句帖 読んでみよう編』『同 作ってみよう編』等がある。

現在、現代俳句協会会員、甲南高校国語科教諭。朝日小学生新聞「はじめて

俳句 五・七・五」、毎日新聞「俳句でふてふ 注目的一句」を連載中。

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 佐藤)

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
		冊	句集 隣の駅が見える駅 塩見恵介 著 四六判 / 並製 / 156頁 / 定価: 1980円(本体1800円+税10%) ISBN978-4-908978-62-3 C0092